

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年 5月27日更新

事務事業名		合志市発展研究会運営事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	政策部	
	施策	25	行政改革の推進		所属課	企画課	
	基本事業	82	職員の人材育成		所属班	企画広報班	
予算科目	会計一般	款	項	目	事業連番	法令根拠	
							成果優先度評価結果 : ②
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 24 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		
							コスト削減優先度評価結果 : ①

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	自治基本条例の理念に基づき、「誠実で迅速な対応」「まちづくり課題解決のための能力向上」「安定した財政運営」「意見等に対する総合的な検討と結果の説明」「市の目指すべき方向性等の提示」について、若手職員の自由で率直な意見を市の施策に反映させるとともに、人材育成と立案能力の向上を図る。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	設置規程の内容検討 ⇒ 施行 ⇒ 庁内説明、周知 ⇒ 委員の募集 ⇒ 実施計画等の策定 ⇒ 会議の開催 ⇒ 課題の提起、諮問 ⇒ 意見交換 ⇒ 施策への反映
【主な予算費目】	予算計上なし
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	・ 庁内への事業内容説明、趣旨や目的等の周知 ・ 委員の募集	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成26年度は一時休止する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人	予算の主な増減の理由 ・ 予算計上なし
→ ア: 委員数		
→ イ: 会議の回数		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	若手職員	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → ア: 改善意見 件 → イ: 参画した若手職員 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	資質が向上する	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → ア: 効果的で、効率的に実施できていると思う職員の割合 % → イ:
*③ 成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
この事業を始めるきっかけは、若手職員の新鮮で柔軟な考えと豊かな創造力の活用と、まちづくりの課題解決、ひいては立案能力の向上等を図ろうとするものであるため、事業が効果的で効率的に実施できていると思う職員の割合を増やすことが重要であると考えた。現時点の数値は一気に増加するとは考えられず、毎年2%ずつ増えるよう目標を設定した。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	24年度	25年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	見込	見込
① 活動指標	ア 人		0	10	0	0	0	0	0
	イ 回		0	12	0	0	0	0	0
② 対象指標	ア 件		0	5	0	0	0	0	0
	イ 人		0	20	0	0	0	0	0
③ 成果指標	ア %		0	40	0	0	0	0	0
	イ								
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	一般財源	千円							
人件費	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	0	23	1	0	0	0	0
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	0	200	10	0	0	0	0
	(B) 人件費計	千円	0	814	39	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	814	39	0	0	0	0

事務事業名	合志市発展研究会運営事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	--------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部（SEE）

\*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 若手職員を募集したが、応募者がなく委員会を発会できなかった。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ⇒
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 平成26年度は一時休止し、今後実施方法等の改善を検討する。	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ⇒
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ⇒
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ⇒
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ⇒
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ⇒

## 3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成24年度で合志市発展研究会設置規程を施行し、平成24年度に第1回目、平成25年度に第2回目の募集を行ったが、応募者がなかった。課内で改善策を検討したが、有効な改善策を見出せなかったため、一時休止し今後実施方法等を検討していく。

## 4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																					